



青武台だより

No.213

平成29年4月6日発行

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
National Institute of Technology, Fukui College

目 次

	ページ
1. 新年度を迎えて	
校長から	2
教務主事から	3
学生主事から	3
寮務主事から	4
専攻科長から	4
2. 学年はじめにあたって	
図書館長から	5
学生相談室長から	5
3. 新入生を迎えて	
専攻主任から	6
第一学年学級担任から	7
4. 学園通信	
平成28年度 第3回 学生表彰受賞者一覧	9
5. 平成29年度行事予定表	
平成29年度行事予定表	10~11

新年度を迎えて



入学おめでとう

校長 松田 理

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

福井高専は1965年に創立され、すでに半世紀を過ぎ、卒業ならびに専攻科修了生は8000名を超え、産業界をはじめ様々な分野で活躍し、国内外から高く評価されています。これからも、国際性を有した高度で優秀な技術者人材を育成すべく学生教育を進めていきます。

この伝統ある福井高専に入学された皆さんに、本校での心構えについて述べます。

第1に、「自学自習の習慣を身につけること」です。皆さんは、義務教育を終え大学と並ぶ高等教育機関の本校に入学されました。従って、教育を受ける「生徒」ではなく、学問を修める「学生」なのです。先生からの宿題や課題を待つ受動的な姿勢でなく、自らの主体性をもって能動的に学ぶことに心がけて欲しいと思います。友達を作りグループで学び合うことも良いでしょう。独善に陥ることを避ける意味でも、他人の考え方や手法を学ぶことは有効です。是非、できることを全力で実行する気持ちで、高専でのキャンパスライフを過ごしてください。現在の過ごし方が君たちの未来につながっていくのです。

第2に、「自分を律すること」の重要性を指摘したいと思います。即ち、何が正しいのか、何が間違っているのかを社会規範に立って考え、たとえ一人であっても勇気ある言行動きをとって欲しいのです。仲間を大切にするあまり、付和雷同し軽佻浮薄な行動をとることのないようにしてください。どんな状況においても責任ある行動が求められます。そして、入ってくる情報については良く吟味をして欲しいのです。ネット上では真しやかに伝えられる情報もあるでしょう。また、自分に都合の良いニュースだけ

に共鳴し、異なる意見を排除する態度があつてはならないと考えます。

常に、福井高専に対する帰属意識と高等教育を学ぶに相応しい学生としての自覚と誇りを持って下さい。

第3に、「自ら考え、挑戦すること」です。昨年、東京工業大学栄誉教授の大隅良典先生がノーベル医学・生理学賞を受賞されたことは皆さん知っていることでしょう。その授賞式に香川高専の専攻科2年生が招待されました。彼は本科3年生の時からもの作りや研究を始め、それらの成果を日本国際賞(Japan Prize)で有名な国際科学技術財団に申請し認められたのです。財団は、若手科学者育成のための事業も行っており、日本から毎年2名の大学生や大学院生を選抜し、派遣していたのですが、高専生は初めてでした。彼は「落ちても失うものはない」と考え、応募したことです。つまり、「自分で考え、新しいことに挑戦する力」が大切なのです。そして、これからの技術者は国際人としての資質も必要です。幅広い教養とコミュニケーション力を高めるため、専門以外の分野にも興味を抱き、知識を広げ、感性や気づく力を磨いてください。「技術系だから文系の知識が不要」と尤もらしい持論を振りかざしてはいけません。

学生の本分は学業です。絶えず前向きに、地道に、しかも粘り強く学ぶことが大切です。困難なことも苦しいこともあるでしょうが、「艱難汝を玉にす」との言葉もあります。将来の技術立国日本を背負う力になるためにも、是非、本校で技術者人材としての基礎を築き、皆さんそれぞれの才能を開花させて下さい。

新年度を迎えて

新年度を迎えて



継続することが力となる

教務主事 阿部 孝弘

新入生204名を迎える福井高専の2017年度がスタートします。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在校生の皆さんには初心に立ち返って新たな意欲をみなぎらせてください。エンジニアとして社会に貢献できる人材となって巣立っていくことを目標に、勉学はもちろん、人間力を養成するために課外活動等にも励んでください。

さて、エンジニアには創造力が不可欠であると言われて続けています。社会が多様化してきて、求められる技術革新も多様化してきているからです。創造するためには、新しいアイデアをひらめく必要があります。記憶していることを単に出力するだけでは創造にはなりません。しかしながら「ひらめき力」を身に着けるためにはやはり知識が必要です。知識を蓄えるためには日々の学習が重要です。

「継続は力なり」という言葉があります。一度解いた問題を2度3度と解いてみると新たな発見をすることがよくあります。この時が、理解から実践に移る瞬間だと思います。達成感や高揚感を味わうことができます。それが次の活動の原動力にもなります。

継続することで力が着きます。継続することが力となります。失敗にめげずに何度も挑戦してください。



新年度を迎えて

学生主事 辻子 裕二

本科及び専攻科の新入生を迎える、今年度も新たなスタートが切られました。学生諸君は個々に新たな目標を掲げ、その達成に向けて努力を続けて頂きたいと思います。

さて、福井高専には、校長発信の「あいさつ／美化／コンプライアンス」というモットーがあります。あいさつは人ととの最初の接点づくりに欠かせません。美しい教室は人の心を和ませるとともに、集中力を高めます。規則は人を守るために設けられています。すなわち、これらは共同生活を行うにあたり、当然とるべき行動であるとともに、いずれも自身に還元される要素をもっています。

それを踏まえた上で、高専生には一つ歩みを進めもらいたいのです。つまり、「相手より先」に声を掛ける／「率先して」ごみを片付ける／ルール違反を発見したら「注意する」という能動的な姿勢と切り出す勇気が求められる行動に展開して欲しいのです。昨今、学生自らが能動的に学ぶ「アクティブラーニング」が推奨され、本校でも取り入れています。この能動的姿勢を、学習面のみに留めることなく、課外活動を含めた生活面全般に拡げて欲しいのです。

加えて、能動的に、この勇気ある行動をとった人に対し、それを受けた人は、常に謙虚にして温和たる姿勢で対応することを期待します。実篤が遺した「他では負けても、せめて誠実さでは負けたくないと思う」に倣って。



新年度を迎えて



新年度を迎えて

寮務主事 中 谷 実 伸

新入生の皆さんのご入学を、心よりお慶び申し上げます。また、学生寮に入寮される新入寮生の皆さんを、歓迎いたします。

本校学生寮には、いくつもの規則や当番の仕事があり、それらが守られない場合には罰則もあります。これは200名を超える寮生が共同生活を送る上で、必要不可欠なものです。また、掃除や洗濯など身の回りのことは全て自分自身で行わなくてはなりません。これまでのよう、ゴミ箱にゴミを入れておいたらいつの間にか空っぽになっていた、などという不思議な現象は起こりません。自分でゴミ捨て場に持つて行かない限り、ゴミはいつまでもそこにあります。毎朝誰かに起こしてもらうこともありません。皆さんのが自分で起きない限り、朝食を摂ることも登校することもできません。

規則を守り、当番をしっかりと勤め、自主的に行動し、自覚を持って生活をする。これらができなければ、寮生活は続けられません。これまでのよう、誰かに生活のほとんどを依存したままではいられないということです。

学生寮での生活を通じて、規則を守り自覚を持つことの大切さを身につけてください。寮が、皆さんが成長する場の1つになることを願っています。



新年度を迎えて -学士以上の学士-

専攻科長 藤田 克志

本校の創造教育開発センターが3年に一度、卒業生・修了生の就職先・進学先にアンケートを行っています。その報告の中に、本校専攻科修了生は、大学4年卒業生と比較して「開発研究」「創造力」などの面で優れているという回答が多くありました。この話を専攻科の先生にした所、ある先生が「専攻科修了生は学士以上の学士ですね」と呟き、わたしはある学生のことを思い出しました。

わたしが初めてクラス担任をした女子学生、大学に編入したいと希望し、いくつかの大学を受験し、すべて失敗。専攻科に進学しました。この学生は、わたしの研究室に所属することになり、5年生の学生と一緒に実験を行い、彼らの卒研発表の指導をし、自分の研究のため週1回大学のゼミに出席し、英語を克服するためにネイティブの人をよんで自分で英会話教室を企画し、もちろん学会にも口頭発表し、大学院に進学しました。今では、3児の母親で現役のエンジニアです。

専攻科は、自分のペースでじっくりゆっくり成長していくのに適した環境です。専攻科の学生諸君は、自分自身の目標をしっかりと定め、成長するため様々なことに積極的に取り組み、学士以上の学士といわれるよう努力をしてください。



学年はじめにあたって

学年はじめにあたって



就任のご挨拶

図書館長 中村吉秀

今年度、図書館長を拝命しました。これまで、副館長として、また『青樹』の編集を通してなど、図書館との関わりは深かったもので、今また図書館の仕事に携わるにあたり、感慨が大きいと同時に責任の重さを痛感しているところです。

昔の図書館は、単に「本がたくさんある場所」というイメージでしたが、昨今はさまざまな形態のメディアが集積され、多様な情報を得られる機関に変質しました。同時に、著作権の問題に代表される、情報をめぐるリテラシーにも敏感にならないといけない部署です。学生さんにも、そういった面の教育を先頭に立って施していくべきだと思います。

また、図書館は地域にも開かれています。福井高専らしい、福井高専にしかない資料を求めて図書館に遠く足を運ばれる方もいらっしゃいます。高専と外部とを結ぶ窓口の一つとして図書館が機能するよう、さまざまな環境整備に努めてまいりたいと思います。

学生さん、保護者の皆様におかれでは、どうぞ図書館を、有効かつ健全に、奮ってご利用くださいますよう、お願ひいたします。



学年はじめにあたって（相談室）

学生相談室長 塚川武弘

新年度を迎えるに当たって、相談室と保健室から案内をさせていただきます。相談室と保健室は学生食堂の2階にあります。体の調子が悪いときはとりあえず保健室へ行くということはみなさんの常識となっていると思います。ちょっと元気が出ないと落ち込んでいるとかいう場合に「相談室に行きます」と言える人はまだ少ないでしょうか。でも気軽に利用して下さいという宣伝をしたいと思います。

学校年度が替わる4月は私たち教員もけっこう疲れます。皆さんも、勉学や課外活動、家族の生活状況や環境が変化し、この時期心身ともに疲れやすくなることだと思います。これは、環境の変化に対応する働きを知らず知らずにしている状態です。うまく対応ができるある程度安定する状態に落ち着くときもあれば、大きく変動し続ける場合もあるかもしれません。自分がどういう状態にあるのかということを客観視できると変動が収束していくことが多いと言われています。

「ストレス」とは何なのかよく分からなくても、「現代人は日常的に多くのストレスを受けています」と言われるとそうかなと思ってしまいます。でも自分はどうも大きなストレスを受けているという(変な)自覚ができると対処に向かうことができます。相談室はそのお手伝いをしたいと思います。



新入生を迎えて

新入生を迎えて 専攻主任から



○ 可能性の鍵 ○

生産システム工学専攻主任
西 仁 司

福井高専専攻科へようこそ。専攻科では、本科で学んだ自分の専門科目に加え、異なる分野の学問も学びます。また、他系の学生との協働作業によるPBL型教育もカリキュラムの中に組み込まれており、幅広い知識を持った技術者育成を目標とした教育が実施されています。特別研究では、より高度な研究テーマに取り組み、国内だけでなく、海外で研究成果を発表する学生もいます。専攻科2年間の学修の後には、大学卒業と同等の「学士」の学位が授与されます。そして、多くの企業が大学卒と同様に専攻科修了生を採用しています。また、複数の大学院と提携を結んでおり、推薦制度を利用した大学院への入学も可能です。

2年という短い期間でありながら、専攻科にはみなさんの可能性を広げるための様々な「しきけ」が用意されています。もちろん、必要な要件はクリアしなければなりませんが、それ以外は皆さん一人一人が自由に開けることが出来るしきけです。専攻科の間にぜひいろんなしきけを開けてみてください。そうすれば、皆さんの中に眠る可能性の鍵がきっと開くはずです。小さくまとまらずに、大きな志を持って学生生活を送ってください。



○ Re-Planning ○

環境システム工学専攻主任
吉 田 雅 穂

専攻科ご入学おめでとうございます。本科5年間の課程を終え、新たな気持ちで本校の門をくぐったことと思います。昨年の専攻科入学生に対して「Planning」というタイトルでお祝いの言葉を捧げました。結びの言葉は『この入学の瞬間、新たなStageでの2年間をしっかりとPlanningすることで、2年後の君たちは随分と違う人間に成長していることでしょう。』でした。この1年間を振り返り君たちの先輩を観察すると、その成長に凸凹が見受けられます。凹の人のPlanningが悪かったのか、それとも、実行(Do)できなかったのか、評価(Check)と修正(Act)を疎かにしたのか。どこかで歯車が狂ったのでしょうか。

さて、君たちに捧げたい言葉は「Planning」とともに「Re-Planning」。2年という課程は大変短いです。目標達成に黄色信号が点つたら早めに計画を変更してください。君たちは本科の課程でそれを行うる素養を身につけています。



新入生を迎えて

新入生を迎えて 第一学年学級担任から



○ 新入生の皆さんへ ○

F1クラス担任
青木 宏樹

福井工業高等専門学校ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんには希望に満ちて本校に入学されたと思います。将来、技術者を目指す人や起業を目指す人、研究者を目指す人、クラブ活動で結果を出すなど、様々な目標をもって本校に入学された方が多いと思います。目標は人を成長させます。自分の目標に向かって常に全力を尽し、一日一日を大切に、本校での学びを豊かにされることを願います。

また、現在具体的な目標が見えない人もいるかもしれません。そのような場合は、勉強やクラブ活動など、現在できることを一生懸命に頑張ってください。そして、同輩や先輩と積極的に交流をしてください。様々な刺激を受けることにより、おぼろげながら目標が見えてくる可能性があります。

さて、目標を達成するためには、計画をたてることが重要となります。具体的に計画をたてることは容易ではないと思います。計画をどのようにたててよいのか解らない場合は、担任の先生、教科担当の先生、クラブ活動の顧問の先生等に相談してみてください。きっと有意義なアドバイスを聞くことができると思いますよ。

皆さんの目標を達成するためのお手伝いを本校は必ずできると思います。希望を持って学校生活を送ってください。



○ 覚悟せよ ○

F2クラス担任
佐藤 勇一

ご入学おめでとうございます。入学直後の皆さんの顔は夢や希望にあふれていることでしょう。どうか初心を忘れずに高専生活を送ってください。高専では、中学までとは違って何事にも自主的・積極的に取り組むことが求められます。高専には学生の自主性を尊重した行事に精一杯取り組む気風があります。また、勉学は質も高く量も多いため、分からぬことを友人と教え合ったり先輩や先生に聞いたりして解消していく積極性や、倦むことなく日々の予習と復習に取り組む自主管理が必要になります。高専に在籍する何年かの間に、しっかりと個をもって主体的に学ぶ姿勢と、他の人たちとともに積極的に学ぶ姿勢を身に着け、今後の自らの人生を切り拓く基礎、さまざまな課題解決に取り組む基礎を培ってください。大切なのは、自己中心ではなく課題中心の観点から日々自己研鑽する覚悟、困難や不確かさを前にしても或る種ののどけさを持ってそれに耐える覚悟、現実を見つめ一歩一歩解決を探ろうとする覚悟を決めることです。初心を忘れずに。そうすれば素晴らしい結果がもたらされることでしょう。初心とは日々の覚悟に裏打ちされた夢や希望のことです。



新入生を迎えて



○ 自ら学ぶ姿勢を! ○

F3クラス担任
挽野 真一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。最初は何かと不安ばかりだと思いますが、担任として様々な不安を少しづつ緩和していきたいと思います。そのためのサポートは惜しません。そして規則を守り、礼儀正しく明るいクラスにしていきたいと思います。

さて、高専は高等教育機関です。中学校との一番の違いは、義務教育の教育機関ではないところです。『勉強をさせられる』ではなく、『自ら勉強をする』必要があります。1年生は、『高専で5年間学ぶための基礎体力を作る』最初の学年です。学んだことをしっかりと自分の血肉とし、次の学年へ進んで下さい。また、分からぬところをそのままにせず、私や他の教員を有効利用して下さい。質問、大歓迎です。

勉強に加えて、学校生活では様々な悩みごとも出てくると思います。しかし、心配はいりません。この学校では、クラス担任の私だけではなく、親身になって皆さんをサポートしてくれる先生や仲間がたくさんいます。どんな些細なことでも良いです、是非とも気軽に声を掛けて下さい。

皆さんと共に過ごし、自ら学び有意義な学校生活を送れるようにサポートしたいと思っています。宜しくお願ひします。



○ 尻込みしないでチャレンジを! ○

F4クラス担任
吉田 三郎

新入生のみなさん、福井高専へご入学おめでとうございます。

私も1年生の担任をするのは4年ぶりですが、この4年間図書館長として、学生たちの意見や感想、創作文などを扱った『青樹』の編集に関わってきました。そこで見つけた皆さんの先輩方が1年生だった頃の感想や発見の声を紹介したいと思います。

まず、周りの同級生が福井県内外の幅広い地域から来ていることですが、これはまさに福井高専の魅力です。エンジニアの道という共通の想いを胸に集まったのですから、次第に楽しい仲間が多いことに気づきます。特に2週間後の1泊研修会での班行動を経験して一気に打ち解けることが多いようです。

次に先生や先輩たちとの関係ですが、その距離の近さが高専の魅力であるという声が多くあります。放課後は部活動で、打ち込めるを見つけて挑戦してみてください。そしてもちろん、一般科目の授業で高校+大学レベルの教養に触れることから専門科目の卒業研究に至るまで、毎日の授業を大事にしてください。夢に近づく5年間になることを願っています。



新入生を迎えて・学園通信



○潜在力をフルに伸ばして○

F5クラス担任

長 谷 川 智 晴

新入生のみなさん、福井高専への入学おめでとう。初めての高専生活、90分授業、遠方からの通学や寮生活など、慣れないことばかりで、「これは大変なところに来たな」と感じているでしょう。ですが、不思議なもので、人はいつの間にか環境の変化には慣れていくものです。焦らず、日々なすべきことを、着実にこなしていってください。そうすれば、かならず高専生活になじんでいくことでしょう。

そして、いつか心に余裕ができたら、周囲を見渡してください。高専には専門知識や、技術を持った教員が大勢います。地元では見たことのないタイプの同級生がいます。とにかく、いろんな個性があふれています。そういった、様々な人々との交流を通じて、見識を広め、自分の打ち込めることが、得意なことを見つけていってください。すぐでなくてもいいです。5年の勉強を通じて、将来について、よりベターな選択ができるようにしてください。

緊張する面接や、難しい試験をクリアしてきたみなさんには、素晴らしい潜在力があるはずです。高専での生活を通じて、その潜在力をフルに伸ばしてほしいと心から願っています。

平成28年度 第3回 学生表彰受賞者一覧

☆校長特別賞

5年間通して学業成績優秀者

学 科 ・ 学 年	氏 名
機械工学科5年	上 村 海
物質工学科5年	田 中 美 和
物質工学科5年	中 山 玲 司
物質工学科5年	日 置 七 瀬
物質工学科5年	松 葉 悠 真
環境都市工学科5年	奥 田 祐 女
環境都市工学科5年	船 木 啓 太

☆校長賞

1年間学業成績優秀者

学 科 ・ 学 年	氏 名
機械工学科5年	辺 見 拓 雄
機械工学科5年	林 田 剛 一
物質工学科5年	浅 田 浩 利
物質工学科5年	柴 原 寛 太
物質工学科5年	森 田 裕 貴
物質工学科5年	吉 田 辰 太 朗
環境都市工学科5年	高 橋 美 玖

学術研究等において優秀な成果

平成28年度日本設備管理学会北信越支部研究発表大会奨励賞

学 科 ・ 学 年	氏 名
電子情報工学科5年	前 田 勝 紀

(学科・学年は、平成28年度のものです。)

平成29年度行事予定表

◆◆◆ 平成29年度 行事予定表（前期）◆◆◆

4月			5月			6月		
1 土 春季休業（～5日）	2 日	3 月	1 月 一音休業	2 火 一音休業	3 水 憲法記念日	1 木 休業 高校春季総体県予選	2 金 大学院研究室訪問（専攻科1年）	3 土 高校春季総体県予選
4 火	5 水 入寮式（10:30）新入寮生オリエンテーション（11:00）開寮	6 木 入学式（10:00）H・R（1～3年、11:00）教育後援会（12:00）教科書販売（2・3年、13:00）保護者懇談会（13:30）	4 木 みどりの日	5 金 こどもの日	6 土 開寮	4 日 高校春季総体県予選	5 月	6 火
7 金 一斉健康診断（本科・専攻科）専攻科オリエンテーション 課題確認テストH・R（4・5年）教科書販売（4・5年、専攻科、13:00）	8 土	9 日	7 日	8 月	9 火	7 水 木曜日の授業	8 木 前期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）	9 金 前期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）
10 月 前期授業開始	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	12 金（短縮授業）（キャンバスウォーク準備）	13 土 キャンバスウォーク	10 土
11 火	12 水 （短縮授業）放課後：新入生歓迎会 クラブ紹介	13 木 新入生オリエンテーション合宿	14 木	15 火	16 水	14 日	12 月 前期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）	11 日
14 金 新入生オリエンテーション合宿	15 土	16 日	17 木	18 木	19 金	15 月	13 火 前期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）	12 月
15 土	16 日	17 月	18 木	19 木	20 土 舞鶴高専交歓試合	16 火	14 水 前期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）	13 火
17 火	18 水 放課後：校長表彰・校長訓示 学生総会	19 火	20 日	21 月	22 木	17 水	15 木 前期中間学力確認週間（試験またはまとめ授業）	14 水
19 水	20 木	21 金	22 土	23 月	24 木	18 日	16 金	17 土
20 火	21 水	22 火	23 火	24 火	25 木	19 月	20 火	18 火
21 金	22 土	23 木	24 水	25 木	26 金	20 月	21 水	19 月
22 土	23 木	24 木	25 土	26 木	27 土 専攻科推薦選抜 察祭	21 月	22 木	20 月
23 日	24 木	25 木	26 木	27 土	28 日 察祭	22 月	23 木	21 月
24 月 開校記念日	25 火	26 水	27 火	28 月	29 火	23 火	24 土 北陸地区高専体育大会（ラグビー：金沢高専）	22 火
25 火	26 水 短縮授業 体育祭準備	27 木	28 水	29 月	30 火	24 日	25 木	23 火
26 水	27 木 体育祭（延期の場合は金曜日の授業）	28 木	29 木	30 火	31 水	25 木	26 木	24 木
27 木	28 金 不合格科目の合格認定に関する計画書提出締切日	29 木	30 木	31 水		26 木	27 木	25 木
28 金	29 土 昭和の日 閉寮	30 日				27 火	28 水	26 火
29 土	30 日					28 水	29 木	28 木
7月			8月			9月		
1 土 北陸地区高専体育大会（野球：金沢高専）	1 火 本科・専攻科期末試験	1 金	2 水 本科・専攻科期末試験	2 土	2 月	3 木 本科・専攻科期末試験	3 日	3 月
2 日 専攻科学力選抜	3 木 本科・専攻科期末試験	3 月	4 木 本科・専攻科期末試験	4 土 本科・専攻科期末試験 試験終了後HR大掃除 キャンバスツアーアー準備	4 月	5 木 本科・専攻科期末試験	5 火	5 月
3 月 北陸地区高専体育大会（陸上：金沢高専）	5 土	6 木	5 土	6 日	6 水	6 土	7 木	6 月
4 火	6 水	7 木	6 土	7 日	7 木	7 木	8 木	7 月
5 水	7 木	8 木	7 土	8 月 夏季休業（～9／15）	8 金	8 金	9 土	8 月
6 木	8 木 在学生保護者対象授業参観	9 水	8 火	9 土	10 木	9 土	10 日	9 月
7 金	9 日 在学生保護者対象授業参観	10 木	9 木	11 金 山の日	11 木	10 木	11 火	10 月
8 土	10 日 北陸地区高専体育大会（金沢高専）	11 金	10 火	12 土	12 木	11 木	12 火	11 月
9 日	11 日 北陸地区高専体育大会（金沢高専）	12 土	11 水	13 木	13 木	12 木	13 水	12 月
10 月		13 木 在学生保護者対象授業参観	12 土	14 木 在学生保護者対象授業参観	14 木	13 木	14 木	13 月
11 火		14 木	13 日	15 木	15 火	14 木	15 木	14 月
12 水		15 木	14 月	16 水	16 水	15 木	16 木	15 月
13 木		16 水	15 日 海の日（予備日）	17 木	17 木	16 木	17 木	16 月
14 金		17 木	16 月	18 金 第52回全国高等専門学校体育大会	18 火	17 木	18 木 敬老の日 開寮	17 月
15 土		18 金	17 月	19 土 第52回全国高等専門学校体育大会	19 水	18 木	19 火	18 月
16 日		19 土	18 月	20 日 第52回全国高等専門学校体育大会	20 水	19 木	20 水	19 月
17 月		20 日	19 月	21 木	21 木	20 木	21 木	20 月
18 火		21 木	20 月	22 火 第52回全国高等専門学校体育大会	22 木	21 木	22 木	21 月
19 水		22 火	21 月	23 水 第52回全国高等専門学校体育大会	23 木	22 木	23 木	22 月
20 木		23 水	22 月	24 木 第52回全国高等専門学校体育大会	24 木	23 木	24 木	23 月
21 金		24 木	23 月	25 金 第52回全国高等専門学校体育大会	25 月	24 木	25 木	24 月
22 土		25 金	24 月	26 土 第52回全国高等専門学校体育大会	26 月	25 木	26 木	25 月
23 日		26 土	25 月	27 日 第52回全国高等専門学校体育大会	27 月	26 木	27 木	26 月
24 月		27 日	26 月	28 木 第52回全国高等専門学校体育大会	28 月	27 木	28 木	27 月
25 火		28 木	27 月	29 火 第52回全国高等専門学校体育大会	29 月	28 木	29 木	28 月
26 水		29 火	28 月	30 水 第52回全国高等専門学校体育大会	30 月	29 木	30 木	29 月
27 木		30 水	29 月	31 木 第52回全国高等専門学校体育大会	31 月	30 木		30 月
28 金	本科期末試験 専攻科休講 専攻科オリエンテーション	31 木	30 月			30 木	29 金 休講 球技大会	
29 土			31 木					
30 日								
31 月	本科・専攻科期末試験							

平成29年度行事予定表

◆◆◆ 平成29年度 行事予定表 (後期) ◆◆◆

10月			11月			12月			
1日			1水	遠足(1、4年) 校外研修(2年) 3年研修旅行 交流会(5年) 専攻科交流会(1、2年)			1金		
2月	後期授業開始		2木	3年研修旅行		2土	全国高専デザインコンペティション(岐阜高専)		
3火			3金	文化の日 3年研修旅行		3日	全国高専デザインコンペティション(岐阜高専)		
4水	防災訓練(予定)		4土			4月			
5木			5日	専攻科社会人特別選抜		5火			
6金	(キャンパスリサーチ準備)		6月			6水	Jointフォーラム(予定)		
7土	キャンパスリサーチ 全国高専プログラミングコンテスト(大島商船高専)		7火			7木			
8日	全国高専プログラミングコンテスト(大島商船高専)		8水			8金			
9月	体育の日 全国高専プログラミングコンテスト(大島商船高専)		9木	在学生保護者対象授業参観(保護者懇談会)		9土			
10火			10金	在学生保護者対象授業参観(保護者懇談会)		10日			
11水	放課後: 専攻科インターンシップ報告会		11土	保護者懇談会		11月			
12木			12日			12火			
13金			13月			13水	特別短縮授業 クラシックコンサート(予定)		
14土			14火			14木			
15日	東海北陸地区ロボットコンテスト(鳥羽商船高専)		15水			15金			
16月			16木			16土			
17火			17金			17日			
18水	(弁論大会の準備)		18土			18月			
19木	休講 午前: 弁論大会 午後: 高専祭準備・クリーン大作戦		19日			19火			
20金	休講 高専祭		20月			20水			
21土	高専祭 専攻科ホームカミングデー		21火	後期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)		21木	授業終了後HR大掃除		
22日	高専祭		22水	後期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)		22金			
23月	休講 高専祭後始末 午後: 校外実習発表会		23木	勤労感謝の日 休業(予備日)		23土	天皇誕生日 開寮		
24火			24金	後期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)		24日			
25水	金曜日の授業		25土			25月	冬季休業(~1/5)		
26木	専攻科生校外発表(北陸技術交流テクノフェア)		26日			26火			
27金	専攻科生校外発表(北陸技術交流テクノフェア)		27月	後期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)		27水			
28土	大学・大学院合同説明会		28火	後期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)		28木			
29日			29水	後期中間学力確認週間(試験またはまとめ授業)		29金			
30月	3年研修旅行		30木			30土			
31火	3年研修旅行					31日			
1月			2月			3月			
1月	元日		1木			1木	休業 本科5年卒研発表		
2火			2金	本科・専攻科1・2年期末試験		2金	休業 本科5年卒研発表 5年HR 進度評価シート記入		
3水			3土			3土	開寮		
4木			4日			4日			
5金			5月	本科・専攻科1・2年期末試験		5月	休業 キャリア教育セミナー(予定)		
6土			6火	本科・専攻科1・2年期末試験		6火	休業		
7日			7水	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年授業		7水	休業		
8月	成人の日 開寮		8木	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年授業		8木	休業		
9火	授業開始 月曜日の授業		9金	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年授業		9金	休業		
10水			10土			10土			
11木	休業 国立高等専門学校学習到達度試験(3年)		11日	建国記念の日		11日			
12金			12月			12月	休業		
13土			13火			13火	休業		
14日			14水	月曜日の授業		14水	休業		
15月			15木	専攻科2年休講		15木	休業		
16火			16金	短縮授業 授業終了後HR大掃除 専攻科2年休講		16金	休業		
17水	放課後: 校長表彰・校長講話 学生総会		17土			17土			
18木			18日	学力選抜検査日		18日			
19金			19月	休業		19月	卒業・修了式		
20土			20火	休業		20火	休業		
21日	推薦選抜検査日		21水	専攻科2年休講		21水	春分の日		
22月	不合格科目合格認定申請締切日		22木	特別学習		22木	学年末休業(~3/31)		
23火			23金	特別学習		23金			
24水	専攻科特別研究Ⅰ発表会		24土			24土			
25木	短縮授業 専攻科特別研究Ⅱ発表会		25日			25日			
26金			26月	特別学習		26月			
27土	(予備日)		27火	特別学習		27火			
28日			28水	特別学習		28水			
29月						29木			
30火						30金			
31水						31土			

平成28年度卒業式風景

